

6 月度支部役員会議事録

日本建築学会近畿支部

期 日：平成25年6月28日（金） 14：00～16：30

会 場：支部会議室Ⅱ（閲覧・会議室）

出席者 小坂支部長

常 議 員 加賀尾、佐藤、田代、福田、矢ヶ崎

飯田、上田、小椋、北村、徳岡、渡辺

支部監事 富山、山浦

事務局 児玉

【審議事項】

（1）支部長挨拶

- 小坂支部長より新体制の役員全員に対し、支部の運営と活動について協力していただくよう依頼の挨拶があった。
- 「若手会員の当支部研究部会活動への積極的な参加について」、「超大地震への対応について」などを支部活動として取り組んでいく方向性が示された。

（2）役員自己紹介

- 留任役員に引き続き新任の役員がそれぞれ自己紹介を行った。

（3）支部役員会務分掌の件

- 事務局より役員各位へ事前に送付された議事録(案)の内容は、確認のうえ承認された。

（4）前回議事録（案）確認の件

- 事務局より役員各位へ事前に送付された議事録(案)の内容は、確認のうえ承認された。

（5）6月度理事会報告の件

- 6月25日(火)に開催された本部理事会については、支部長より資料を用いての報告が行われた。
報告の主な内容は、「吉野会長挨拶」、「本会の会務運営状況について」、「監事監査方針について」、「東日本大震災3周年シンポジウムについて」、「WECC2015準備状況報告」、「旧ジョネス邸の保存活用に関する要望書」提出について（近畿支部）、「委託研究の受託について」に関する説明であった。

（6）支部報告 1. 事業報告 2. 会計報告

- 事務局より報告があり、承認された。

(7) 7月度以降の支部役員会開催日の件

- 出席役員の都合を確認したうえで、本年12月度までの開催日程が以下のとおり決定した。
- 当支部役員会の開催時間は、15時～17時30分に変更することとなった。
【開催日程】：7/31(水)-懇親会、9/24(火)、10/28(月)、11/28(木)、12/16(月)

(8) 当支部研究委員会に対する常置研究部会からの各部門別主査代表選任の件

- 各専門領域の代表委員となる部会主査に関しては、当支部研究委員会内規に従い以下の4名に委嘱することとした。
 - ①材料・構造系 材料・施工部会 中村 成春 (大阪工業大学)
 - ②環境系 音環境部会 堀之内吉成 (京都大学大学院)
 - ③計画系 住宅部会 高田 光雄 (京都大学大学院)
 - ④横断領域系 防災計画部会 田中 哮義 (京都大学名誉教授)

(9) 今年度の当支部親と子の都市と建築教室に関する件

- ①まちをつくろう2013「エネルギーのまちをつくろう！」(7/28(土)、8/4(土)、8/5(日))
- ②第11回 京町家の伝統技術を学ぶ(8/24(土))
- 「まちをつくろう」および「京町家の伝統技術を学ぶ」の内容について、事務局から開催内容について説明があった。
- 本年の開催についても、担当役員は可能な限り分担して協力することが確認された。

(10) 2014年度本会大会(近畿)開催に関する件

- 大会実行委員長に就任いただいた、松下敬幸氏(神戸大学大学院教授)に出席をしていただき、大会実行委員会を組織体制と実行委員会各部会の神戸大学での部会長および幹事について説明があった。
- 当支部から大会実行委員会に参加する支部所属代議員および支部役員の割振りについて原案が示され、承認することにした。
- 大会委員会の委嘱先人事原案についても示され承認したことに伴い、大会企画の概要が纏まったところで大会委員会を開催することが説明された。

(11) 京都府立鴨沂(おうき)高等学校校舎の保存活用に関する要望書の件

- 矢ヶ崎常議員より、当支部近代建築部会(主査:笠原一人氏)で作成された要望書および見解文について説明があった。
- 出席役員からの意見(役員会への建物写真の提出など)については、当支部近代建築部会に連絡のうえ対応していただくことにした。

(12) 後援依頼の件

- 次の後援依頼2件を承認した。
 - ①平成25年度第2回建築技術講習会
 - 期日 7月18日
 - 会場 大阪府建築健保会館5階 会議室
 - 主催 大阪府建築士会

②公開シンポジウム「琵琶湖・芸術・文化－大津市湖岸エリアの将来像を考える」

- 期 日 8月3日
- 会 場 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 小ホール
- 主 催 浜大津観光協会

【報告事項】

(1) 今期の本会および当支部年間予定表について

- 配布された年間予定表に関して事務局より説明があった。

(2) 今年度の役員名簿

- 配布された役員名簿に訂正などがある場合は、事務局へ連絡することとした。

(3) 研究発表会終了報告

- 来月に開催する当支部研究委員会の結果を受けて報告することとした。

以 上